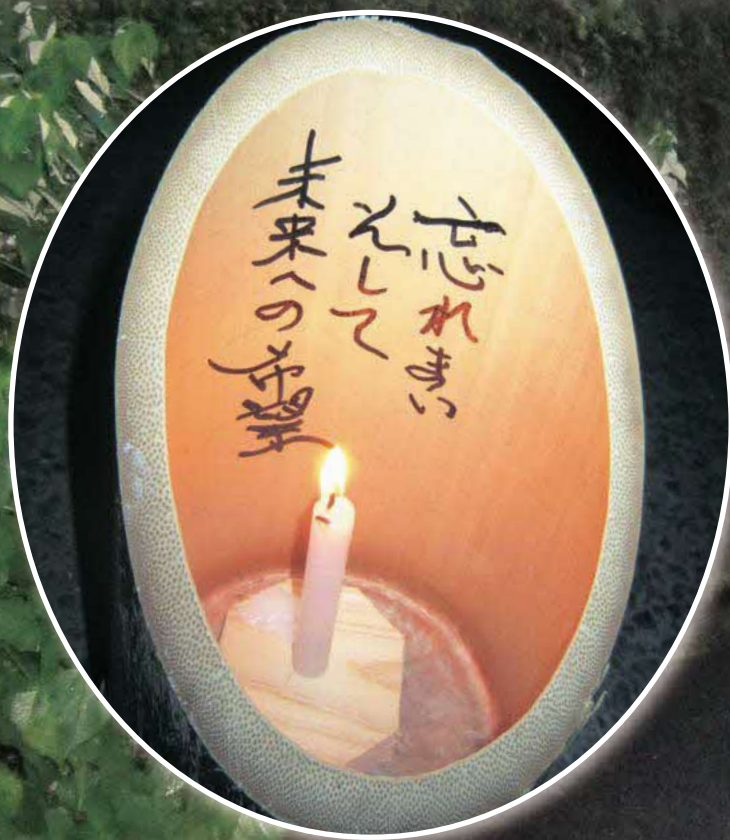


くまもと

議会だより

102号

2021.8.10



7月4日教訓に
小川地区竹灯籠

もくじ

6月定例会	2
6月定例会議案等審議結果	4
要望書	5
一般質問	7
編集後記	14

6月 定例会

さくらドーム解体費認めず

6月定例会の概要

○開会 令和3年6月7日

○閉会 令和3年6月10日

○会期 4日

○審議内容

・承認 4件

・報告 4件

・議案 12件

財産 5件／条例 2件

予算 4件／契約 1件

・発議 2件

一般会計及び特別会計それぞれ の令和3年度補正予算 4件を審議

令和3年度一般会計補正予算の
主なものは、豪雨災害の全壊世帯
へ支給される災害見舞金として、
令和4年度で支給する予定だった
一世帯20万円を、令和3年度に一

括支給するため6千890万円増
額、新型コロナウイルスワクチン
の集団接種に係る予算、被災した
渡小学校の仮設校舎を球磨中学校
敷地内へ設置するリース料や、そ
れに伴う球磨中学校の空き教室
と技術室の工事費などが計上さ
れ、2億8千864万円を追加し
61億5千364万8千円となりま
した。

しかしながら、災害公営住宅建
設に係る「さくらドーム」解体費
2千万円については、議会との議論
がし尽くせていない理由から議員全
員の反対があり削除されました。

【承認】

- ① 球磨村税条例等の一部を改正す
る条例の制定について
- ② 指定居宅サービス等の事業の人員、
設備及び運営に関する基準等の一

部を改正する省令等の施行に伴う
関係条例の整備に関する条例の制
定について

定について

- ③ 令和2年度球磨村一般会計補正
予算について

- ④ 令和2年度球磨村国民健康保険
特別会計補正予算について

【報告】

- ① 和解及び損害賠償額の決定につ
いて

- ② 令和2年度球磨村一般会計予算繰
越明許費繰越計算書について

- ③ 令和2年度球磨村一般会計予算
継続費事故繰越し繰越計算書に
ついて

- ④ 令和2年度球磨村簡易水道特別
会計予算繰越明許費繰越計算書
について

【財産】

- ① 財産の無償譲渡について
(一王子団地5区画)

5件

【条例制定】

- ① 球磨村企業立地促進施設設置条
例の一部を改正する条例の制定
について

- ② 球磨村産業振興対策事業補助金
交付条例を廃止する条例の制定
について

【予算】

- ① 令和3年度球磨村一般会計補正
予算について

- ② 令和3年度球磨村国民健康保険
特別会計補正予算について

- ③ 令和3年度球磨村後期高齢者医療特
別会計補正予算について

- ④ 令和3年度球磨村介護保険特別
会計補正予算について



豪雨災害時に避難や災害対策本部として活躍したさくらドーム

【契約】

① 工事請負契約の締結について

【発議】

① 渡地区の農地及び水路の災害復旧に関する復旧計画の詳細を求める意見書について

② 高校生の交通手段の確保を求める意見書について

① 一般会計補正予算「さくらドーム解体費」を削除

【内容】 さくらドーム解体工事費2,000万円を削除。

【意見】

これまで、さくらドームを解体し、その敷地に災害公営住宅建設の説明を受けてきたが、さくらドームは、これまで住民の憩いの場や発表の場として活躍してきた。昨年の豪雨災害でも初期避難場所および災害対策本部、支援物資置き場として豪雨災害時の主要施設として重要な役割を果たした。

議会としては、住民が安心して集うことができる広場や発表の場がないこと、今後も災害が発生した場合、安全に初期避難ができる場所として「さくらドーム」は残し、災害公営住宅は、運動公園内の空きスペースを活用した分散型住宅建設の検討をお願いしていた。しかし、今回「さくらドーム解体工事費」が補正予算に計上されている。災害公営住宅の建設はもちろん必要ではあるが、議論もし尽くせていない状況で解体については賛成できない。

② 災害見舞金（全壊）を令和3年度で一括支給

令和2年7月豪雨災害で全壊した世帯へ災害見舞金として支給される1世帯あたり50万円について、当初、令和2年度で10万円、令和3年度および4年度で20万円ずつ支給する予定であった。今回、令和3年度において、財源が確保できたことにより令和4年度支給する予定だった20万円も、令和3年度に一括支給する補正予算を可決した。

③ 要望書に対する意見書を提出

議会へ要望書の提出があった2件について、審議の結果、村長へ議会から意見書を提出した。

【要望1】 渡地区の農地及び水路の災害復旧に関する復旧計画の詳細を求める意見書について

【要望2】 高校生の交通手段の確保を求める意見書について

※内容については、5ページに記載

6月定例会 議案等の審議結果

	議案番号	件 名	結 果
1	承 認 第 1 号	専決処分事項報告承認について (球磨村税条例等の一部を改正する条例の制定について)	原案承認
2	承 認 第 2 号	専決処分事項報告承認について (指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について)	原案承認
3	承 認 第 3 号	専決処分事項報告承認について (令和2年度球磨村一般会計補正予算について)	原案承認
4	承 認 第 4 号	専決処分事項報告承認について (令和2年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について)	原案承認
5	報 告 第 8 号	専決処分事項報告承認について (和解及び損害賠償額の決定について)	報告
6	報 告 第 9 号	令和2年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
7	報 告 第 10 号	令和2年度球磨村一般会計予算継続費事故繰越し繰越計算書について	報告
8	報 告 第 11 号	令和2年度球磨村簡易水道特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
9	議 案 第 28 号	財産の無償譲渡について (一王子団地の土地の譲渡)	原案可決
10	議 案 第 29 号	財産の無償譲渡について (一王子団地の土地の譲渡)	原案可決
11	議 案 第 30 号	財産の無償譲渡について (一王子団地の土地の譲渡)	原案可決
12	議 案 第 31 号	財産の無償譲渡について (一王子団地の土地の譲渡)	原案可決
13	議 案 第 32 号	財産の無償譲渡について (一王子団地の土地の譲渡)	原案可決
14	議 案 第 33 号	球磨村企業立地促進施設設置条例の一部を改正する条例の制定につて	原案可決
15	議 案 第 34 号	球磨村産業振興対策事業補助金交付条例を廃止する条例の制定について	原案可決
16	議 案 第 35 号	令和3年度球磨村一般会計補正予算について	修正可決
17	議 案 第 36 号	令和3年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
18	議 案 第 37 号	令和3年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
19	議 案 第 38 号	令和3年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
20	議 案 第 39 号	工事請負契約の締結について	原案可決
21	発 議 第 1 号	要望書について 「渡地区の農地及び水路の災害復旧に関する復旧計画の詳細を求める意見書について」	原案可決
22	発 議 第 2 号	要望書について 「高校生の交通手段の確保を求める意見書について」	原案可決

議会に提出された要望書2件について、原案可決し村へ意見書を提出しました。

【要望書1】

渡地区の農地及び水路の災害復旧に関する要望書

当局におかれましては、昨年7月4日の豪雨災害で発生した被害に対し、被災者への救援、土砂排出、住宅の公費解体、災害住宅建設、道路・橋梁の仮復旧等々ご尽力賜っておりますこと、重ねてお礼申しあげます。

さて、大水害以来10ヶ月が経過しました。渡地区は、球磨村唯一の水田地域ではありますが、地の内水路、大王水路を管理している組合員は、頭首工や水路の被害状況も、被害額等もわからない状態であり、不安が募る日々を過ごしております。

また、農業用機械につきましては、9割の補助金をいただき令和2年度の予算で随時購入しておりますが、今の状況では機械が利用されることなく、倉庫で眠ってしまうこととなりかねません。

農地等の災害復旧は熊本県が代行されると伺っております。被害も甚大で復興に時間を要することは承知しており、村全体の復旧、復興に大変な時期とは存じますが、組合員一同農業の再建に向け、今一度頑張る所存でございますので、復旧計画の詳細をお示しくださるよう要望いたします。

令和3年5月10日

渡水利管理組合組合長 舟戸 勝也
組合員一同

【要望書2】

高校生の交通手段の確保を求める要望書

令和2年の豪雨災害により、ハイスクールバスが運行できなくなってしまいました。村内に住む高校生をもつ保護者と家族は、高校まで毎日送迎をしています。

高校生の保護者にとって球磨村に戻って住むためには、交通手段が確保できているかは大きな理由の一つになります。

また、高校生のみならず、高齢者の方にとって通院や買い物をすることを考えれば、隣町の芦北町が行っているような、児童・生徒・住民が乗れるバスを運行することが一つの方法だと思います。

現在、復旧したコミュニティバスの利用促進も今後の課題の一つではありますが、まずは需要の高い時間は、確保して欲しいです。

以上、高校生の交通手段の確保について要望いたします。

令和3年5月20日

球磨村神瀬 岩崎ちふみ

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨	頁
田代 利一議員	① 復興について ② 農業振興	7
犬童 勝則議員	① 復興計画 ② 人吉、下球磨消防組合の広域化 ③ 農業の再生	8
東 純一議員	① 避難所選定の基準 ② 公費解体の進捗状況と手順 ③ 学校(高校)通学の交通手段 ④ 防災無線の活用	9
高澤 康成議員	① 復旧が進む中で復興に向けた村の将来像	10
舟戸 治生議員	① むらづくり	11
小川 俊治議員	① 豪雨災害復旧・復興	12
嶽本 孝司議員	① 復旧、復興について	13

復興に向けて話し合いをする地域別協議会の様子



復興について トップとしての方針は

答

3つの基本目標で復興を目指す

質問

復興計画の1番目、目標である村民生活再建が進んでいないと思うが。

松谷村長 令和2年7月豪雨災害から復旧復興を進めていくために球磨村復興計画を策定した。3つの基本目標として、安全な宅地の確保・地域別協議会の推進・防災、減災等の取組の急務を掲げ、安全で安心して住み続けられる村づくりを目指していく。

質問

村独自の復興方針とは

友尻復興推進課長

村内の被害状況は一樣でないため、渡・一勝地・神瀬・三ヶ浦・高沢の5地域別に復興方針を取りまとめる。一日も早く子どもから高齢者まで安全で安心して住み続けられる球磨村の未来へつながる復興に取組む。その中で、主要施策に掲げた脱炭素社会に向けた取組強化は、被災地の村だからこそ気候変動問題と向

き合い、復興・発展を成し遂げなければならぬと考えている。

質問

安全な宅地の確保は、令和5年までに実現できるのか。

松谷村長

実現できるように取り組んでいかなければならないが、できる限り早く進めたいと考えている。また、安全な宅地の確保は、地域別協議会の意見交換で被災した所をかさ上げするよう検討している、栗林周辺の高台を造成、公

共施設と宅地整備を考えている。

質問

生活再建支援金の支給は

大岩保健福祉課長

昨年3ヶ年で分割支給とした災害見舞金は、本年度と来年度分を6月補正で提案し今年度で全額を支給する。

質問

みなし仮設住宅の被災者の支援は。

大岩保健福祉課長

避難生活ということで、支え合いセンターも電話連絡・訪問にて安否の確認等支

援を続けている。昼間の仕事等でも不在であるが訪問していない事はない。仮設住宅・みなし仮設住宅も連絡を取りながら訪問するように努めている。

質問

防災無線で小学生の帰宅呼びかけの取組は。

森教育長

仮設住宅に多くの小学生が集っており、生活面でも遅くまで遊んでいて帰宅が遅いとの課題が生じていた。解決策として、小学生による帰宅の呼びかけを取り組んでいる。

質問

学校の統合や小中一貫校となった場合、校舎の適地場所等の考えは。

森教育長

現在渡小学校も一勝地小学校にも複式学級が発生し、統合や小中一貫校とか教育の環境整備再編というのを考えなければならない



田代 利一 議員



球磨中学校敷地内に建設される渡小学校仮設校舎

思っている。復興計画の中で場所等の見通しは立っていない。

質問

地元農産物のふるさと納税とその返礼品は

友尻復興推進課長

令和2年度のふるさと納税が3億5千万円で、1億2千万円が返礼品ありの申し込みで、3千万円弱が村内事業者の返礼品である。特に梨・一勝地赤豚が好評であった。棚田米は災害にて供給量が減った。

災害に強い村づくりに向けた

主要施策は



答 あらゆる自然災害に対応できる避難所や防災拠点の確保に取り組む



質問 復興計画の基本目標である災害に強い、村づくりに向けた主要施策の考えは。

松谷村長

村としては、国、県と連携しつつ、まず道路、河川、山地災害の早期復旧に取り組み、その後、今後起こり得る災害を想定したハード整備とともに、情報伝達手段の強化に取り組んでいく。なお、あらゆる自然災害に対応できる避難所や防災拠点の確保と整備に取り組みつつ、避難ルートの整備にも取り組んでいく。



質問 現在道路、橋梁等、インフラの復旧については、国道そして相良橋の仮復旧と、少しずつではあるが、復興に向かって進んでいると思われるが、球磨川の支流に沿った道路の復旧の考えは。

松谷村長

県道高沢一勝地線に関しては県から来年の7月、梅雨期ま



被害が大きかった県道高沢一勝地線

進めていきたいと考えている。



質問 遊水池については、3月議会の村長答弁では、球磨川の治水対策として、地下、今村地区の遊水池については有効だと考える答弁であったが、改めて、村長の考えは。

松谷村長

今後、地域別協議会で、



犬童 勝則 議員

地元住民の意向を踏まえ、一人ひとりにしっかり寄り添いながら取り組んでいく。



質問 新聞報道によると、熊本県は球磨村渡地区で被災した水田の大区画化を検討しており、県農地整備課は農家の意向に沿って事業を進めると掲載していたが、これは遊水池と大区画化とのセットで進めると考えてよいのか。

門崎副村長

今のままの災害復旧ではなく、ある程度、復興を目指したところで、集約化というものも勘案しながらセットでいうことになるかと思っている。まずは住民の方々の意向を踏まえた上で、その意向に沿った形で、県と検討していく。



質問 被災者の見守りや心身

のケアについての対応は。

松谷村長

地域支え合いセンターにおいて、訪問や電話による相談、必要に応じて関係機関へつなぐなど、被災者に寄り添う活動に努めている。



質問 住民の生命、財産を守るためにも、人吉消防組合の広域化が必要であると思うが、村長の考えは。

松谷村長

今回の災害を踏まえ、大規模災害に即応できる体制の整備が必要と考えている。上球磨消防組合との組織統合や連携によるものなのか、あるいは全県一本部なのか、地域の実情等を考慮しながら、構成市町村と情報を共有、連携しながら、統一した行動をとっていく。



質問 球磨村消防団の編成見直しと、処遇改善の考えは。

永椎総務課長

編成定数については現状維持でやっていく。処遇改善については出動手当も含め、改善するところは改善していく。

今回見直された避難所の選定基準は

答

被災した公民館と、最大想定浸水区域、土砂災害警戒区域に致することを基準とした



新しく見直された球磨村防災マップ

質問

防災マップの見直しがなされ、避難場所、避難所の見直しがあり、指定されていた公民館避難所の多くが除外をされた。今回の選定基準と、安全な避難路の整備については。

松谷村長 今回の基準は、被災し

た公民館は除外するとともに、立地条件が最大想定浸水区域、土砂災害警戒区域に一致するものも除外することを基準とした。ただ一部、その地域に公共的建物がなく、やむを得ず指定をしている。今後とも復旧・復興の段階に応じて随時見直しをしていく。

質問

除外された避難所の地区から、指定避難所に行くにも道路が危なくて行けないとの声もある。状況によっては、その地区での避難対応、判断でもよいのか。

永椎総務課長

雨の降り方で土砂災害の状況が変わるので、その状況にに応じて避難所運営をしなければならぬ。

質問

現在、村内において公費解体が進められている。工事の進捗

と、申し込んだ人との連絡はできているのか。また、着手までの流れは。

松谷村長

自費解体が13件、公費解体が、358件申請され、合計371件となっている。進捗状況としては、7月には発注が終わり、10月には解体事業も終わる見込みとしている。

質問

申請者に事前の解体工事着手の連絡がないまま解体が始まっていたことが数件上がっているが。

友尻復興推進課長

工事に伴う苦情は聞いており、再発防止のため周知徹底をしている。

質問

鉄道も大きな被害を受け、被災前まで運行されていたハイスchoolバスもストップしたま

まになっている。高校生の通学手段についての考えは。

松谷村長

村民のニーズに合わせ、見直しを進め、コミュニティバスの増便等での対応も視野に入れ検討していきたい。

質問

ハイスchoolバスの件については、保護者の方々にとって、通学の問題で村に残るか、出るかの大きな分岐点になっている。前向きな検討を願いたい。

松谷村長

何らかの対応をしなければならぬ。

質問

防災無線の役割、活用については、村民の安心、安全に向けた重要な施設と思うが、他にも催しや、学校からの発信等、多様な活用があってもよいのではないのか。

松谷村長

村民の方が、どのような情報が必要としているのかしっかりと精査し、活用を行って行かなければならない。このような情報が欲しいなどあれば役場に問い合わせていただきたい。

議員 純一 東

執行部と村民・議会との

歯車はあっているか



答 村民・議会の意見に耳を傾け丁寧な村政運営を行う

質問

村長の描く将来は。

松谷村長

昨年の就任以降、新型コロナウイルス感染症対策、7月豪雨災害で、思い描いていた事業を実施することが1年間はできなかった。

しかし、未曾有の大災害からの復旧復興が先決であり、復興計画の方針に基づいた施策を実施することにより、魅力ある住みやすい村・安全で安心な暮らしを確保・人口減少・高齢化に対応した新しい村づくりに取り組み、未来に向かって持続可能で豊かな全村民が生き生きと暮らせる村づくりを目指していく。

質問

執行部と村民・議会との歯車が合っていると思うか。

松谷村長

地域別協議会を立ち上げ、地域の抱える課題を、村民・議会の意見に耳を傾け、丁寧な村政運営を行い、将来を見据えて、村

民の幸福のために全力で取り組んでいく決意である。

質問

住宅用地候補8ヶ所の今後の方向性は。

松谷村長

現在、地域別協議会を実施している中で、渡栗林地区を造成・公共施設の住宅等の整備を進めようと考えている。掘削土砂置場の山口・地下・今村は地域別協議会で要望があればかさ上げ造成等を考えている。また、国・県からも掘削土砂の有効活用する方向で話をいただいている。

質問

水害で浸った場所を住民に提供するのには矛盾してはいないか。

松谷村長

国・県も有効活用をとっている。その地区の地域別協議会で要望があれば住宅の建設用地として進めていきたい。

質問

議会の提案とは別に「さ



高澤 康成 議員

くらドーム」を解体して災害公営住宅建設に予算を計上した執行部の進め方はどうなのか。

松谷村長

多くのご提案をいただいた中、執行部でもいろんな議論をした上で残念ではあるが「さくらドーム」を解体して災害公営住宅を造る方向性を決定した。今回予算を計上して執行部の意見を聞いていただきたかったが、執行部の提案も進め方も通らなかった。ただ、「さくらドーム」の解体については苦渋の決断だった事をご了承くださいだと思います。

質問

渡小学校の跡地の利用と再建は。

森教育長

復興計画の中で宅地のかさ上げ候補地として計画が出ている。今は教育環境の改善が一番

と考えている。統合再編については渡小学校の再編を含め保護者・地域住民の意見を交えながら将来のビジョンを描いていく。

質問

最後に今日の私の一般質問を聞いてどう思われたか。

松谷村長

私に対するエールと受けとめる。



高上げ候補地の渡峯地区

指定緊急避難場所及び福祉避難所の備蓄品は

答

かわせみ別館に備蓄している



備蓄品が保管されているかわせみ別館

質問

指定緊急避難場所及び福祉避難所の備蓄品は、村が整備されるようだが、現状は。

松谷村長 昨年7月の豪雨災害の経験や検証を踏まえ、今後起こり得る災害に備えるため、防災マップを全面的に見直した。指定緊急避難場所には必要最小限の備蓄品として、発電機、衛生用品、毛布等を、かわせみ別館に備蓄している。

質問

指定避難場所の基準は。

永椎総務課長

被災者等を滞在させるために必要かつ適性な規模のものであることなど、災害対策基本法施行令の中に基準を定めてある。

質問

市房ダムの緊急放流に伴う水位の上昇や被害はどのような想定されていたか。

松谷村長

検証委員会の資料では、球磨村では、40cm以下の水位の上昇が想定された報告をいただいた。

質問

災害発生時、断水地域、被災箇所の把握、断水地域を中心とする水道管、排水施設等の被災状況は。

松谷村長

国道の崩壊により埋設されていた配水管が破裂したほか、主要道である相良橋と沖鶴橋に添加していた送水管、配水管が橋梁とともに流失した。復旧作業は困難な状況が続いたが、他自治体からの人的技術支援をいただき簡易

水道施設の応急、復旧に対応した。

質問

基本的に簡易水道事業は水道料金だけでの経営は無理があるかと思っている。これまで村有林を伐採し、その収益で対応してこられたかと思うが、村長の考えは。

松谷村長

経費等は抜いたうえで、一般会計から繰り入れながら、今後は対応していく。

質問

道路は、住民の日常生活、災害時の応急対策活動において、重要な役割を果たすと思うが、村の管理する道路について、災害発生後調査点検を行い、被災状況や交通状況を把握されたと思うが、現状は。

松谷村長

建設課職員による巡回や行政区担当職員による災害調査報告、道路維持業務を委託してい



舟戸 治生 議員

る球磨村山村活性化協会からの報告、区長、班長など住民等からの連絡に基づき、被災状況や道路通行の可否等、現地確認による状況把握を行っている。

質問

産業基盤整備で、砂防、急傾斜崩壊防止施設、治山林道施設等において、災害発生後、速やかに災害状況の調査を行い、必要に応じて応急復旧を行うことが必要と思うが、その考えは。

松谷村長

管理者である熊本県と連携しながら、被害状況等の調査を行い、被災した施設の復旧や堆積した土砂や流木の撤去などについて、本年度の出水期に向けて緊急を要するものから順次着手していく。

質問

頭首工及び農業用水路の豪雨災害での被害状況と、三ヶ浦から農業用水路の復旧を要望にいられたと思うがその時の対応は。

松谷村長

頭首工19ヶ所、被害額3億9,635万円となっている。大無田地区の用水路に関しては、梅の木鶴から八久保地区への水の流はあまり知らない。

早く営農を再開したい要望があるが

答

農家との意見交換を行い意思確認したい

質問

農業における具体的な復旧計画は。

松谷村長

水路や農地の災害は災害復旧事業国庫補助の暫定措置に関する法律に基づき、原則として災害発生年会計年度を含む、3か年度以内に完了させることとされる。本村の復旧事業は、令和4年度が復旧計画終期となるが、他の土木災害の兼ね合いもあり、令和5年度までの計画としている。しかし九州北部豪雨、熊本地震の復旧状況を考慮すると令和6年度以降にずれ込むことも予想される。

質問

最つとも重要なのは早急な復旧だと思うが。

松谷村長

できる限り早く再度農業ができることを望まれていると思うし、一日も早く再開できる状況にする考えである。

質問

安心はまず復旧。元に戻る



復旧が進まない渡の農地

すことから始まると思うが、創造的復興の名のもとに復旧が遅れることや、安心が遅れることは望んでいないが考えは。

門崎副村長

単に元に戻すだけではなく、この機に大区画化など進めること。遊水池制定されているところの大区画化の可能性もある。元に戻すことでの作付けをしたいのか、創



小川 俊治 議員

造的復興を望むのか、皆さんの意向を十分に把握しながら事業執行を図りたい。

質問

農地復旧事業の事業主体は、激甚災害の指定は球磨村全体の農地か、事業査定と補助率増高申請は。

上部建設課長

事業主体は球磨村、激甚指定は村全体、事業査定はスパー簡易査定で昨年12月31日終了、補助率増高申請は済んでいるが今回の査定額はあくまでもスパー簡易査定であり詳細なものはない。

質問

災害発生の会計年度を含む3か年内の完了が、簡易査定であることから遅れる。なぜ早くできないのか。

上部建設課長

負担金を払い事業を進めていいのか受益者の意思確認が

必要。意思確認ができたところは工事発注も急いでいる。国交省の遊水池案、宅地造成候補地など今後の事業の方向性が見えていないなか、災害復旧ができない状況にある。

質問

早く営農を再開したい要望があるとき、復旧と復興は切り離して考えることであり、遊水池計画で農地、施設の復旧が遅れることは納得いかない。復旧の先に復興があると思うが。

松谷村長

復旧と復興は切り離せない。治水対策の内容が農地等の復旧につながると思う。

質問

早く田植えがしたい、営農の再開を望む思いを受け止めてもらいたい。

門崎副村長

優先順位と言うと大変失礼かと思うが、住まいの再建、生活道路の改修に全精力を傾注したい。農地、施設を元に戻したい声が大きければ、その方向で対応しなければならぬ。組合の方々の意見交換を行い意思確認したい。

県道のかさ上げ等復興計画での対応は

答

地域別協議会において意見を聞き、決定したい



渡地区の導流堤と堤防

質問

今年3月に県の復興計画が示されたが、村の取組は。

松谷村長 球磨川流域池水協議会

資料によると、関連する対策として、河道掘削、引き堤、輪中堤、宅

地嵩上げ、遊水池整備が掲げられている。設計説明会が開催される

際に、水位の低減効果も含め確認

していく。宅地嵩上げについては、

地域別協議会で皆様の意見を踏まえ決定したい。

質問

豪雨災害の前には、地下

地区の国道嵩上げ、渡駅前改良計画があつたが、水害によって国

道の高さも変わるのではないかと、また、馬場地区対岸も被害を受け

て県道も上がるのではないかと。

松谷村長

7月豪雨は、想定をは

るかに超えるもので、国道の嵩上げは渡地区に限らず、緊急輸送道

路としての機能や、復興の鍵となる宅地嵩上げ計画にも関係する事

項として、国、県へ要望していく。

質問

避難場所等高台移転は、

ヘリポートを兼ねた避難場所として、自然災害に対し必要ではないかと。

松谷村長

避難場所と併せてヘリ

ポート整備は必要と考えている。

ただし、現段階は生活再建が最優

先課題であり、安全な宅地確保も必要面積によっての残地がどれだ

けか、避難所の必要数、様々な角度で考える段階である。

質問

肥薩線の復旧は、村の

生活再建にも不可欠と思うが、村の働きかけは。

松谷村長

生活や移動、観光振興

においても欠かせない線路であり、早期復旧に向けて今後も連携して

JR九州や国へ働きかけを行っていく。

質問

宮園地区のJRガード

下が水没し通行できない。村が抱える課題だと思う。改良をお願い

したい。



球磨村議会

議員 孝司 嶽本

松谷村長

その件は大きな課題

となっている。今後JRの再開、再建も絡んでくるので今後の課題

として取組んでいきたい。

質問

地域別協議会について

の進捗状況は。

松谷村長

地域の方々の意向を集

約する重要な役割を果たす組織であり、運営はあくまで村民主体と考

えているが、行政も村民の方と一緒に考えていく場として、5月に

第1回が開催されている。地域住民が主体となり、地域、地区別の復興

まちづくり計画を策定し、それに基づいた事業を実施していく。



洪水時に水没する JR ガード下の道路

くまっこ 渡小学校



なかまの目標

- ・全員で考え、粘り強く学び合おう
- ・自分の思いを表現し、仲間と支え合おう
- ・何事にも挑戦し、目標に向かって高め合おう

<クラスの自慢>

- みんなで協力できる
- 下級生に優しい
- 字がきれい
- 本をたくさん読む

【6年 松野 真与さん】

私達の学級は、いつもみんな仲良く、毎日が楽しい学級です。今は、学級の人権宣言「一人一人が自分の思いを正しい言葉遣いで素直に言い合える学級」を毎日意識して学級全員で頑張っています。昼休みにみんなで遊んでいるときがとても楽しいです。これからも、渡小学校のリーダーとして、みんなを引っ張り、将来へ向けて勉強も頑張っていきたいです。

<担任の先生> 勝原 彩賀

6年生は、男子2名、女子5名、計7名です。少ない人数ですが、全員で学び合い、支え合い、そして高め合いながら、日々充実した学校生活を送っています。環境は変わりましたが、多くの方々の支えがあってこそ、今の生活があることに感謝の気持ちを持ち、言葉や態度で表現できる6年生になってほしいと思います。卒業式で成長した姿をお見せできるよう、一日一日を大切に皆で頑張ります。

どなたでも傍聴できます。

次回は、9月定例議会（日時未定）

6月定例議会の傍聴人数は延べ21人でした。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、傍聴者も手指の消毒とマスクの着用、傍聴席の座席を1つ空けて着席をお願いしました。

編集後記

令和2年7月4日、私たちに忘れてられない日になりました。あの日から1年が過ぎ、月日の流れの早さを感じます。

自然は、ときに人の心を癒やし、ときに牙をむきます。日本だけでなく、全世界において気候変動が気になります。

これまでに経験したことの無い災害が発生し、今では毎年、何処かの土地で災害情報が発表されます。身を守る行動の大切さを感じるこの頃です。

私たちは、大きな、そして多くのものを失いましたが、いつの日かまた、豊かな自然、心穏やかな日々が来ることを信じ、前へ進みたいと思います。

東 純一

議会広報特別委員会

委員長	小川 俊治
副委員長	犬童 勝則
委員	東 純一
委員	板崎 壽一